

進路通信

2021年 第20号 3月23日(火) 発行



福島さん

合格者インタビュー(国立編)

国公立大学の発表が終わり、農三からはお茶の水女子大、横浜国立大、東京都立大、千葉大、埼玉大など19人が現役合格をしました(MARCH以上の難関私大現役合格は52名)。今日は国立の東京農工大学工学部応用化学科に合格した福島百華さん(元3年1組)に話を伺いました。聞き手:佐野



進路指導室でインタビュー



山中先生(担任) 福島さん 萩原先生(学年主任)

Q.福島さん、合格おめでとうございます。

A.ありがとうございます。3年間、大学受験に向けて勉強してきたんですけど、それが終わってしまって感慨深いです。

Q.聞きづらいんだけど、国公立前期で第一志望の国立大学は不合格だったよね。その時の心境を聞いてもいい？

A.共通テストの判定がよくて、そこで合格して受験が終わるとい希望もあったので、リアルに目の前が真っ暗になりました。後期の試験が2日後にあったんですけど、気持ちがそこに向かわないところがありキツかったです。

Q.切り換えられたきっかけは？

A.担任の先生と電話で話して励まされたんですけど、なんか私よりもショックを受けていて(笑)、そこで初めて現実感が出たんですよ。とりあえず赤本を開いて無理やり机に向かいましたね。

不合格になった時は、もう私立大学でもいいかなという気持ちもあったんですけど、先生と話したり親にも励まされたりして頑張ろうって思いました。後期まであきらめずに受けてよかったです。

Q.みんなに聞いてるんだけど、メンタル的に一番キツかったのはいつ？

A.推薦合格や私立大学の合格で3年生の一般受験に臨む同級生がだんだんいなくなって、残されてる感はありましたよね。

Q.そんなときはどうやって勉強してた？

A.スマホのメモに合格したらやりたいこと(観たい映画、旅行したい場所など)を書くことで、気持ちを大学生活の方に向けて希望を持つようにしました。

Q.高校1・2年生に向けて言いたいことある？

A. どんどん上を目指して勉強した方がいいです。自分の実力よりも上のところを目標にしてもいいと思います。英検は絶対取っておいた方がいいし、やっぱり英語は凄く大事ですよ。

Q.東京農工大学ではどんな研究をするの？

A.サプリメントや市販薬など創薬系か食品や香料など化学系の改良の研究をやりたいと考えています。高校では部活に入っていなかったのでサークルとかにも入りたいですね。あと海外旅行もしたいです！

Q.最後の質問ですが、農三での3年間は どうでした？

A.先生方にはすごく恵まれたと思います。予備校とか塾には行かなかったんで、サマーセミナーとか講習には積極的に参加しました。私、実は家ではあんまり勉強できないので、とりあえず農三に来て勉強しましたね。Iコースということもあり受験期にもクラスの雰囲気が変わらなかったんで、前向きに受験ができましたね。農三、楽しかったです！

佐野:福島さんありがとうございました！

34期の3年生に進路通信が届くのはこれが最後となりますが、4月から新たなステージでまた勉強を続けてください。私の好きな言葉があります。インド独立の父ガンディーの言葉です。「明日死ぬつもりで生きよ。永遠に生きるつもりで学べ」。人は一生学び続ける存在です。1年間ありがとうございました。(佐野)